

<b>テフリルトリオン・ピラクロニル水和剤</b> <b>ゲットスター顆粒</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日産  <b>原体メーカー：</b> 全農・バイエル・北興、協友アグリ
<b>成分：</b> テフリルトリオン〔トリケトン系〕……………37.5% ピラクロニル……………22.5%	<b>性状：</b> 淡褐色水和性細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- わずか2成分で、ノビエやホタルイ、オモダカなど幅広い雑草に優れた効果を示す。
- 気温による効果変動が少なく、低温時でも安定した効果が期待できる。
- 効果発現のスピードが速い。

### 【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエ2.5葉期までに時期を失ないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	2葉期まで
オモダカ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
アオミドロ、藻類による表層はく離	発生前

- オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものには十分な効果を示さないので、有効な後処理剤との組み合わせて使用する。
- 水口施用の場合は顆粒のまま顆粒水口施用専用袋を使用して水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。施用後田面水が通常の湛水状態（水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意し、施用後7日間 は落水、かけ流しはしない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意（共通）を参照。
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさける。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用时並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



# 【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
				薬量	希釈水量			
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ セリ(東北を除く) オモダカ (九州を除く) アオミドロ・藻類 による表層はく離 (関東・東山・東海)	壤土～ 埴土	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日 まで	80g	500㎖	湛水 散布	全 域 (北 陸、 関 東・ 東 山・ 東 海を除く)の普通期及 び早期栽培地帯 北陸、関東・東 山・東海の普通 期及び早期栽培 地帯	1回※
		砂壤土 ～埴土					全 域 (北 陸、 関 東・ 東 山・ 東 海を除く)の普通期及 び早期栽培地帯 北陸、関東・東 山・東海の普通 期及び早期栽培 地帯	
		壤土～ 埴土			—	顆粒水 口施用		
直 播 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	砂壤土 ～埴土	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、収穫 90日前まで	80g	500㎖	湛水 散布	全 域	
					—			

※テフリトリオンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内